

総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。
- 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

- 「心の教育」の充実に努め、人間としての在り方生き方の自覚を深め、豊かな人間性を育成する学校
- 心身ともに健全な活力ある人間の育成を目指し、自主的活動を推進する学校
- 多様な進路希望に対応し、一人一人が主体的な科目選択を通して自己の能力を伸ばし、自己実現を可能にする学校
- 実践的・体験的な学習を積極的に取り入れ、適切な勤労観・職業観を育成し、社会の一員として活躍できる人間を育成できる学校
- 保護者・地域社会との連携を深め、社会から信頼される開かれた学校

各学校で定める目標と育成する資質・能力

地域社会に貢献するために、自己の能力を伸ばし将来を考える態度を養うとともに、課題発見から解決の過程において探究の意義や価値を理解し、以下の資質・能力を育成する。

- 課題解決に必要な基礎学力を身に付けるとともに、その解決に向けて仮説を立てたり、情報を基に分析・判断したりする力を身に付ける。
- 実践的・体験的な学習から、主体的・協働的に取り組む態度や、適切な勤労観・職業観に基づく将来を設計する能力を身に付ける。
- 地域社会との関わりから、コミュニケーション能力の重要性を見だし、それぞれのよさを生かしながら、地域社会に貢献しようとする態度を育てる。

総合的な探究の時間の学習評価

- レポートやワークシート等の自己評価
- 活動ごとのルーブリック法を利用した振り返り
- 発表時の相互評価
- 年度末に総合的に評価実施

生徒の実態

- 素直な生徒が多いが受動的な面がある。
- 真面目ではあるが、地域の多様な社会経済基盤を考える上で、基礎学力の更なる充実が必要である。
- 働くことへの意識は高いが、業種や職種についての理解が不十分である。また、外国籍生徒が多くなり、進路においても多様である。
- どのように地域社会に関わるか、その意識決定過程に課題がある。

生徒の発達をどのように支援するか  
○配慮を必要とする生徒への指導

- 活動ごとに「見える化」し、分かりやすい授業展開
- 関係機関と協力し、それぞれ個に応じた配慮
- 外国籍生徒に向けた翻訳やルビ振りなどの言語の配慮

目指す生徒の姿

- 地域社会から信頼され、地域社会に確実に貢献する人財
- 地域に定着し、地域の多様な社会経済基盤を支え、地域社会を担っていく自立した人財

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力）

- 1年次
- 自己理解と将来設計
- 個々の能力に適した職業を知り、将来を考える力を身に付ける。
  - 社会に求められるコミュニケーション能力を身に付ける。
- 職業と自己の進路
- 体験的な学習から主体的・協働的に取り組む態度を育む。
  - 課題と解決法について、発表を通して表現する力を身に付ける。
- 2年次
- 現代的な諸課題
- 現代の変化に対応できるように、情報を収集・分析する力を身に付ける。
  - 諸課題から、必要とされる職業等を考える思考力を身に付ける。
- 沖縄の諸課題
- 観光地の諸課題を発見し、解決に向けた仮説を立てる力を身に付ける。
  - 地域社会と比較し、地域に貢献しようとする態度を育てる。
- 3年次
- 職業や自己の進路に関する課題
- 自己について理解し、それを生かすために必要な知識を得る。
  - 多種多様な職業を知り、それらを分析できる力を身に付ける。
- 興味・関心にもとづく課題
- いろいろな情報を収集し、主張を論理的にまとめる力を養う。

学習活動、指導方法等

- 学習活動
- 1、2、3年次それぞれ週1時間
  - 課題探究学習  
グループディスカッション、ブレインストーミング  
KJ法、ロジックツリー など
  - 講演会、発表会、企業・上級学校訪問 など
- 指導方法
- 担任中心に年次で統一された指導
  - クラス単位、年次単位での活動
  - グループ、ペアなどの形態で活動

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

- 授業担当者会議（毎月）…授業担当者間で指導方法や評価の観点、進捗状況について情報共有する。
- 総合的な探究の時間研修会（8月）…職員全体で担当者を中心に、目標や指導方法、評価に関して研修する。
- インターンシップとしての連携（11月）…地域企業約50社、連携先…郵便局、消防